

第 9 号  
昭和 43 年 6 月

# 会 報

発行 北海道高等学校  
教育研究会 事務局

札幌市伏見町 1872 の 4  
札幌旭丘高等学校内  
電話 56-1221 番

## ご あ い さ つ

この研究会が発足して、本年は 6 年目になります。つまり創立満 5 年を経て、一応の組織ができあがったと言えましょう。ここから、二つの意見や希望が出ています。一つには、基礎も確立したのだから、ここらで飛躍的な運営を試みてはどうかということ、二つには、見た目には形もとのつたようでもまだ充分とは言えないし、ここしばらくは堅実な運営ですすむのがよいのではないかということ、大体この二つです。このことは 6 月 8 日の役員会においても、各役員の胸の中にあつた問題でしたが、結果としては、二つ目の意見に集約せられたわけであります。

従つて本年度も、大きな事業としては、第 6 回研究大会（全体集会および教科部会）、会報の発行、研究紀要第 6 号の刊行、研究調査の資料蒐集の 4 つとなります。この中で、全体集会是、高校教育の全般についての大局的な指向を明らかにする場としたいものであり、教科の枠をこえての共通理解に到達するための場として充実させたいものであります。教科部会は、年々その会員数もふえ、内容的にも充実してきていることは、参会者のひとしく指摘するところですが、そのためか、もう少し日程がほしいとの声がある向きもあります。けれど、これは全体としてのバランスの上から目下のところ容れられないので、それだけに、むしろ研究発表をふやし、それに対する討議を質的に深めるなどの方途を講じて、参会者に充実感を与えるようにすることが大切なようであります。

教科部会で、すぐれた好ましい計画を立てるのには、教科の会員がはつきりせねばなりません。そこで本年は、各教科別の会員名簿を早くつくつて部長さんにお渡しするつもりです。そのためには、各学校における本会会員名を、速やかに支部長さんに登録していただきたいのであります。支部長さんのところで、一定のとりまとめ方式によつてとりまとめ、札幌本部に所定の日までにおとどけ下さればまことに幸甚でございます。よろしくご協力をお願い申し上げます。

かえりみますと、創立以来の 5 年間の歩みはまことに苦勞の連続だつたようです。規模が複雑で組織も大きいのに、一挙にのりだしたという感じがあつて、呑み込みにくいおもむきがたしかにあつたと言えましょう。幸にも、既存の各研究団体関係者の特段のご理解とご協力があり、また、そうした団体を持つていなかつた教科関係者のご熱意があり、大きな流れとして、ここに本会が育つてきたのであります。今では、いろいろな意味において、各方面からも期待をよせられるようになりました。しかし、やつと基礎としての 5 年を歩んできたにすぎません。本年からはじまる次の 5 年こそは、一層強烈な試練に耐えねばならないでしょう。その意味で第二次期の初年である 6 年目すなわち本年は、今後をうらなうとても大切な年柄と存じます。会員の皆さん、各校長さん、役員の方々の皆さん、何卒よろしく願いいたします。

本会の会員は、この会報にもでていますように、いままで年々ふえてきております。この会の趣旨をご理解いただくという点からも、一人でも二人でも多く入会していただければ幸いですようお願い申し上げます。

さいごに諸賢のご健勝とご健斗を祈ります。

会長 長 瀬 米 茂

本会の第5回大会が本年1月9日10日の2日間、改装なつた札幌市市民会館(9日)、札幌市内各高等学校(水産部会のみ小樽水産高等学校)(10日)を会場として開催されましたが、吹雪という最悪の天候にも拘らず、本会設立以来の多数の会員諸氏が参加され盛会裡のうちに第5回大会を終了しましたことは、本会の飛躍的な発展を示すと共に、本会の趣旨活動が年を追つて理解されている現実を知り、事務局をあづかつている関係者は深い感銘を受けました。幸い年を追つて本会の目的、趣旨等も一般に理解され会員数も急速に増加すると共に同時に各教科部会・各支部に於てのそれぞれの活動も順調に軌道に乗つて来ていることは誠に喜ばしいこととございます。今年も本会創立6年目を迎え、いよいよ充実期に入る段階となつてまいりました。新役員も先般の役員会で決定し、具体的に本年度の事業も開始しようとしている時期にまいりましたのでよろしくお願いいたします。

本会の急速の発展に対処し、事務局の機構も充実し、以前にも増して活動を活発にしたいと念願し、将来の発展のため万全の準備を完了いたしました。

創立6年目を迎え局員一同皆様の御協力と御支援を願うと同時に、会員諸兄の一層の御健闘を期待いたしております。

次に過日役員会で協議決定されたことについてその概要を御報告いたします。

- 4 2. 5. 1 9 教委へ提出 第1役員会(長瀬米蔵氏会長として再任、任期2年)
- " 5. 2 5 事務局打合せ(校内関係分掌等)
- " 6. 1 2 教科分会事務担当者会議(於札幌旭丘)出席19名
- " 9. 2 7 第2回教科部会事務担当者会議(於札幌旭丘)
- " 6. 2 0 本部事務局員委嘱状発送(8名)
- " 6. 2 8 会報7号発行、各校へ発送、会員加入促進文書発送
- " 7. 1 8 " 会員名簿受領" と " 会員名簿送付" を地区支部長へ依頼
- " 8. 1 0 各地区高校へ加入促進文書発送 市民会館借用決定
- " 8. 3 1 第2回役員会(全体集会、他)
- " 1 1. 8 各教科部会事務局へ部会依頼状発送、係分担当表
- " 1 1. 1 0 各教科部会講師に委嘱状発送、後援依頼発送
- " 1 1. 2 8 全体研究会、教科別研究会開催要項、案内状発送
- 4 3. 1. 9 研究大会(市民会館、市内各校)
- " 1. 1 0 参加者2,200名
- " 2. 1 3 第3回役員会
- " 3. 2 0 研究紀要第5号、会報8号を発行

## 昭和43年度 第1回役員会

日時 昭和43年6月8日(土)

自午前10時30分

場所 札幌市北3条西3丁目

雪印パーラー4階会議室

### 1, 経過報告(4.2.4.1~4.3.3.1)

- 4 2. 4. 5 昭和41年度事業実績報告書を道教委へ提出
- " 4. 2 5 高校長会支部長へ、高教研地区支部長選出依頼発送
- " 4. 2 6 昭和42年度事業計画書を道

## 2, 昭和42年度収支決算報告

### 3, 役員の一部交替について

- 昭和43年度人事移動に伴い一部役員の変更がありました。(別紙役員一覧表参照)

### 4, 昭和42年度事業計画

- (1) 第6回研究大会の開催
- ア、期日 昭和44年1月9日(木)、10日(金)
- イ、場所 第1日目 札幌市民会館大ホール 各会議室(予定)

第2日目 市内各校を協力校として依頼したい。

ウ、全体研究テーマ

※本年度全体研究テーマ

「高等学校教育と学習指導の近代化について」

○部会で設定するテーマは、全体テーマを基本として各部会でそれぞれ定められたい。

エ、全体集会講師

原則として中央より2名

○部会講師は部会毎に決定されたい。

オ、日程 第1日 全体集会

第2日 教科別集会

カ、その他

- 1.参加料は会員から徴収しない。
- 2.会員外参加料は一人につき300円、申込と同時に前納とする。

(2) 研究紀要第6号の発刊

ア、規格 B5版200頁程度

イ、発刊予定 昭和44年3月10日(少し早めたい)

ウ、原稿締切 昭和43年11月10日(厳守)

エ、原稿内訳

○教科は一教科につき400字詰原稿用紙60枚以内、原稿の集約、審査等は各教科部会で行う。(申込先:各教科事務局)

○教職一般は、一編につき400字詰原稿用紙30枚以内、原稿の集約は支部、審査は支部長、本部事務局で行う。

※事務局へ直送されたものは、それぞれ該当の教科又は支部へ転送致します。

(申込先:各支部事務局)

(3) 会報第9号・10号の発行

ア、回数 年2回(6月・3月)

イ、内容

第9号 ①本年度事業内容の紹介

②その他

第10号 ①研究大会記録

②年度の反省 ③その他

(4) 研究調査

本年度予定されているもの(含昨年度より

の継続)

- ①苫前郡産業発達略史(羽幌高関教諭)
- ②英語学習に於ける語学実験室の利用について(札幌旭丘高英語科)
- ③北海道の地殻構造について(札幌旭丘高高田教諭)

支部、教科で希望ありましたらとりまとめ提出下さい。(申込先:教科関係は各教科事務局、教職一般は各支部事務局)(申込様式は自由ですが主題、担当者、所属学校、調査内容の内容の要約、調査期日等を含めて下さい。期日は7月末日です)

(5) 各教科部会、各地区支部の事業計画

5. 昭和43年度収支予算案

会員数4700名、会費250円、補助1000.000円支出基準、昨年に準ずる。 研究調査費特設

6. 関係研究団体との統合について

7. その他

※会員加入申込について

会員名簿は毎年あらたに学校単位でまとめ、年間会費各250と共に支部で一括していただいで居ります。本年度から会員加入はこの様に支部を通じてだけ受付ます。本部直接受付は学校以外のもののみと致します。会員は研究大会参加費無料(会員外参加料300)研究紀要無料配布等があります。

昭和42年度会員登録一覧

地区別	教科別		
地区名	会員数	教科名	会員数
札幌	971人	国語	504人
函館	351	社会	567
後志	202	数学	509
小樽	147	理科	608
南空知	350	英語	467
北空知	383	保健体育	386
旭川	419	芸術	111
留萌	137	農業	336
名寄	316	商業	321
北見	209	工業	296
釧路	240	水産	62
十勝	306	家庭	227
苫小牧	238	その他	32
室蘭	155	合計	4,426
合計	4,426		

## 北海道高等学校教育研究会役員

会長 長瀬 米 蔵 (札旭丘)  
 副会長 村上 正雄 (岩 東)      小黒 淳 達 (札 南)      川井 信 男 (札工)  
 監事 横川 義雄 (旭 商)      北条 忠 (釧江南)      山崎 英 哉 (由仁)  
 顧問 梶浦 善次 (北星学園大)

### 支 部

支 部	支 部 長	所 属 学 校
札 幌	上野 秋造	(札 北)
函 館	小島 朝憲	(函 北)
後 志	内田 諒	(俱知安)
小 樽	山本 彦一	(小桜陽)
南空知	西山 勝	(栗 山)
北空知	相沢 健一	(芦別商)
旭 川	深田 賢正	(旭 北)
留 萌	虎谷 勇作	(羽 幌)
名 寄	神 柎之助	(名 寄)
北 見	牧野 賢良	(遠 軽)
釧 根	佐藤 健作	(釧 工)
十 勝	山口 賢三	(帯南商)
苫小牧	長尾 之児	(苫 西)
室 蘭	川田 正徳	(室清水)

### 教科部会

教 科 部 会 長	所 属 学 校
国 語	松本 利一 (小潮陵)
社 会	磯貝 芳司 (札開成)
数 学	上野 秋造 (札 北)
理 科	牧野 徹夫 (札 南)
保 休	川田 正徳 (室清水)
芸 術	上田 由宗 (札 西)
英 語	長瀬 米蔵 (札旭丘)
家 庭	坂本 勇 (美唄南)
農 業	黒沢力太郎 (酪農学園)
工 業	寺岡 二郎 (札琴似)
商 業	島田 重徳 (小商業)
水 産	飯田 毅 (小水産)

### 本部事務局(札旭丘)

局長 大塚 正次      局次長 島田 善造      神田 昭  
 幹事 大関 光      岩城 礼三      寺島 善五郎

## 支 部 だ よ り

### 旭 川 支 部

全道の会員数の約1割を擁する大支部だが、地域も広く、支部としての研究活動は仲々まとまっては出来難い。

当面、教科研究を中心にした活動から推し進めていく方針で、昨年は予算の関係から英語と国語の二教科についての研究会にしぼった。今年は数学をはじめ希望する教科も多く割当に困るかも知れない。然し、一般会員のこの会に対する意識は余り高いとは云えず、特に支部の体制づくりが頭だけの感じて、役員だけがヤキモキして計画を立てているのは反省させられる。今年から気分一新して支部長権を交替、事務局も旭川北高に移ることになっている。

(6月10日 文責 旭川東高 細川)

### 釧 路 支 部

釧路支部結成の記念行事として次のような研究会がもたれた。

北海道釧路高等学校数学教育研究会

結成記念行事日程

期日 昭和42年12月18日(土)

会場 釧路江南高等学校

- 1 3. 3 0 ~ 1 4. 3 0 特設模範授業(田島一郎氏) — 複素数とその応用 —
- 1 4. 3 5 ~ 1 4. 4 0 開会式
- 1 4. 5 0 ~ 1 6. 3 5 講演会(講師田島一郎氏) — 教学教育の現代化 —
- 1 6. 4 0 ~ 1 7. 0 0 質疑応答
- 1 7. 0 0 ~ 1 7. 1 0 閉会式